



乳がん・講演と癒しのクラシック

『自立する患者たち』

日時：2014年 **5月17日** (土) 13:00~16:00 (開場 12:00)

会場：**東京ウィメンズプラザホール** (東京都渋谷区神宮前 5-53-67)

地図 [リンク](#)

プログラム

Part I <13:00~14:30>

- 13:00 歓迎のごあいさつ ワット隆子 (BCNJ-あけぼの会会長)
- 13:10 **チェロ演奏会** 菅野博文 (チェロ)、戸室玄 (ピアノ)
- ・チャイコフスキー ロココ風主題による変奏曲
 - ・サン・サーンス 白鳥
 - ・ラフマニノフ ヴォーカリーズ ほか
- 14:10 休憩

Part II <14:30~16:00>

- 14:30 講演「乳がん治療—誰に、いつ、どの薬を、どう使うか？」
講師：清水千佳子先生 (国立がんセンター中央病院 乳腺・腫瘍内科)
- 15:00 パネルディスカッション「再発治療を続けながら、仕事も続ける」
廣瀬満重、西村きよみ、清水千佳子先生、ワット隆子会長

参加費：会員・一般 1000円

申込み：入金をもって受付とします。折り返し『入場証』をお送りします。

- ① 郵便振替「00190-4-17333、あけぼの会」
 - ② 現金か切手を普通郵便で、下記住所宛にお送りください。
- いずれの場合も、〒・住所・お名前、「春の大会申込み」と明記して。

締切り：5月12日 (土) 必着

定員：300名

問合せ：あけぼの会事務局 ☎03-3792-1204 E-mail : akebonoweb@m9.dion.ne.jp

〒153-0043 東京都目黒区東山 3-1-4-701

——当日直接会場に来られても入場できます——

プロフィール

チェロ演奏会



菅野 博文 (チェロ)

カンノ ヒロフミ

東京都出身。桐朋学園、斎藤秀雄氏に師事。同高校、大学を経て渡欧。ピエール・フルニエ氏に師事。その後、米国インディアナ大学に於いて、ヤーノシュ・シュターカー氏に師事。

第38回日本音楽コンクール1位、及び海外派遣コンクール1位。第5回チャイコフスキー国際コンクール3位。ソ連作曲家課題曲最優秀演奏者賞受賞。1976年よりフィラデルフィアテンブル大学助教教授となり、米国内でオーケストラとの共演、多くの演奏会に出演。現在、昭和音楽大学教授。



戸室玄 (ピアノ)

トムロ ゲン

1989年生まれ。6歳からサンフランシスコ、ボストン、パリで育つ。2001年関東国際コンクール金賞、仏フォンテンヌブロー城音楽祭でフィリップ・アントルモンに見出され、パリに移住。パリエコンクールノルマル音楽院を室内楽とピアノの両方第一位で終了。2011年ベルギー国立管弦楽団とパリ日本文化会館とブルッセルボザール劇場にてブラームスピアノ五重奏曲共演。2013年指揮者大友直人監修のホテルオークラロビーコンサート、大阪フェニックスホールにてリサイタル。

講演会



清水千佳子先生

国立がんセンター中央病院
乳腺・腫瘍内科

(日本乳癌学会評議員)
1996年東京医科歯科大学医学部卒。国立がんセンター中央病院レジデント、がん専門修練医(乳腺内科)を経て2003年4月M.D. Anderson Cancer Center Medical Exchange Program 研修。2010年より現職。2012年乳腺・腫瘍内科 外来・病棟医長、2013年からアピアランス支援室兼任。

【清水先生より】

「私が渡辺亨先生のもとで修行していた10年前と比べ、薬物療法は非常に進歩しており、それ自体は朗報と思いますが、まだまだ根治は難しい状況です。医療者が患者にエビデンスを説明し、患者は得られた情報に納得して(最近では情報が多すぎて不幸になるケースが多いように思いますが)生き方を選ぶ、そんな成熟したインフォームド・コンセントを、患者さんとともに目指せたらと思っています。」

パネルディスカッションの出演者の皆さん

廣瀬 満重 (東京)

ヒロセ ミツエ

「2008年1月の両肺多発転移、多発骨転移、縦隔リンパ節転移、局所再発発覚から約6年半治療継続中です。今迄ゾメタ、ハーセプチン、ホルモン剤6種類、抗がん剤5種類を使っています。今年1月から始めたゼロダ・タイケルブは副作用が酷く、ゼロダ中止、タイケルブを規定量の4割に減量して何とか継続中です。仕事はもうすぐ勤続30年。初発時2か月、ホルモン治療副作用の卵巣嚢腫手術で1か月の病欠、再発時に6か月休職した以外はフルタイムで働いています。」

西村きよみ (三重)

ニシムラ キヨミ

「多発性骨転移で現在治療しています。痛みが出始めたので、放射線治療を行いました。背中と腰に2か所当てたのですが、場所的に喉から胃まで放射線がかかってしまったので、意外にもその副作用で苦労しました。やっと仕事に復帰でき、毎日がんばっています。先日昭和大にて中村清吾先生のセカンドオピニオンを受診しました。やっと東京に行け先生に診ていただき、ホッとしています。」